

鼓童

宿根木公會堂



- トピックス 鼓童佐渡特別公演(春)
- 芸術監督・坂東玉三郎氏インタビュー 可能性の扉をひらく鍵
- EC2012 城山コンサートゲスト 上妻宏光 一響鳴する現代の伝統
- 山野さんのアルバム拝見 EC25周年記念

お天気に恵まれて、新緑もまぶしかった9日間の佐渡特別公演(写真: 岡本隆史、洲崎純子)

春のツアーも終盤を迎えています。「伝説」… もうご覧になりましたか？

鼓童通信

2012年4月～5月

SADO PERFORMANCES 鼓童佐渡特別公演・春

四／二七～五／六

鼓童として初の取組みとなる佐渡での連続公演は、宿根木公会堂の大掃除から始まりました。研修生とともに出演者自ら会場の設えを行い、お客様をお迎えする準備をしました。また、初日前夜には宿根木集落の皆様をお招きしてお披露目公演を行い、感謝の気持ちをお伝えしました。出演者五人の持ち味を活かしたプログラムに加え、研修生二年生が屋台離子を披露する場面も。ベテランのメンバーと共に毎日過ごし、沢山のお客様を前にする経験は、得がたい勉強の場となったことと思います。

終演後には、お客様にメンバーとの交流をお楽しみいただける雰囲気も好評をいただき、おかげさまで大入り満員となりました。ご来場いただいた皆様に深く感謝申し上げます。（報告：山口康子）
※4ページのトピックスもご覧ください。

旅・ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー

五／十二 東京：大田区民ホールアブリコ
佐渡の稽古で一から作り上げてきた新しい舞台。初日であるこの日、お客様はどんな風感じてくださるのかという今までにない緊張感に包まれました。演奏しながらも嫌な汗をたっぷりかいた舞台。稽古の段階で思い入れを強くいれて作ってきた分、自分自身のコントロールがなかなかうまくいかないことに難しさを感じた初日でした。

五／二〇 東京：東京国際フォーラム

新しい試みに賛否両論、これまでになく厳しい意見もいただきました。このツアーを回っています。とにかくこれだけ魂をこめて打てるか、いつも以上に自身に厳しく問いかけています。何かが見えるまで無心で叩き続けなければなりません。今日は心と身体と太鼓がうまく一つになった気がしました。お客様の最後の拍手に少しホッとしました。「とにかくこの音を聴いて欲しい。」という強い気持ちが一番太鼓の音に表れるんだなと根源にあるものに改めて気づかされた日でした。（報告：中込健太）

旅・SCHOOL TOUR 交流学校公演

五月七日に発売した交流公演班は新演出の小田洋介のもと演奏者七名、スタッフ二名で島根を皮切りに四国の愛媛を巡り、現在、交流学校公演としては初めての九州を旅しています。

五／十四～十六 愛媛：八幡浜市内の小学校での公演（五校）

昨秋は市内の全中学生を対象にしたの公演でしたが、この春は市内全小学生に観てもらいます。みかんの花と潮の香りに包まれた環境で育った生徒さんとはとても元気が良いです。体験コーナーでは先生にも参加してもらおう場面がありました。ノリの良さや生徒さんとの距離感は当たり前ではありますが、さすがプロだと勉強になります。我々も負けじと熱く

激しく、そして楽しい演奏を届けようと盛り上げていきました。

終演後のお見送りの際、「生き生きしとったよ！」と生徒さんに声をかけてもらったのはなんと今ツアー最年長の私でした。

五／十八 愛媛 内子座

内子座ではワン・アース・ツアーで過去に何度も公演させていただいています。が、今回は初めて交流学校公演でやってまいりました。歴史と趣きのある芝居小屋が自分達の住む町に身近にあることを羨ましく思います。午前は小学生、午後は中学生と郷土芸能部に所属している高校生に観ていただきました。舞台上で太鼓をたたき「体験コーナー」では、やや緊張ぎみの生徒の皆さんの表情が印象的でした。（報告：船橋裕一郎）

全員で体操の様子。体験コーナーとは違いリラックスモードです。（写真：坂本雅幸）



五／十九 愛媛から長崎への移動日。お世話になった八幡浜の雅太鼓の方に見送られてのお別れです。（写真：坂本雅幸）

五／十九 「ゆきあひ 清姫」は東京では板橋区にある安養院というお寺で、榎家さんに限定した公演が昼と夜の二回行われました。新緑に包まれた庭を舞台にしたクライマックスのシーンです。
 (写真：菅野敦司)



SOLO ACTIVITIES

ソロ・小編成活動

藤本吉利ゲスト出演

五／十九 静岡・「第四回 浜松太鼓祭」
 朝元尊さん主宰の「太鼓尊塾」プロデュースによる太鼓祭。出演者は太鼓尊塾の大人チーム「一心」と子供チーム「尊鼓空」、三宅島芸能同志会、加藤拓三さん、私、そして、今回初参加の立川志の吉さん。太鼓の舞台に落語が加わり、ひと味違った楽しい舞台でした。尊さんと同志会の津村和宏さん、そして岐阜県恵那市を拠点に活躍している加藤拓三さんは共に鼓童文化財団研修所の二三期生で、中込健太と同期。それぞれに頑張っている姿に心打たれ、ここに参加させてもらっていることを嬉しく思いました。
 (報告：藤本吉利)

藤本容子ソロ活動

五／二〇 栃木・「花のうてなに」
 壬生寺でお祀りしている慈覚大師(壬生に生まれた天台仏教の高僧)の没後一一五〇年記念事業。同時に、壬生寺保育園創立四〇周年の記念事業としてお招きいただきました。私自身が佐渡で暮ら

す歲月の中で教えられた、仏と人の身近なありよう。その温もりと恩愛の物語りを、童歌、古謡、民謡、自作のうた達を通してお届けしました。園児達のりりしい歌声。準備から共演まで、尽力いただいた先生方。打てば響く、お客様。感謝と共に、この新しい歩みへの願いがさらに強まった一日でした。
 (報告：藤本容子)

小島千絵子ソロ活動

五／十六 佐渡・「ゆきあひ 清姫」
 「清姫 音楽絵巻」佐渡の乙女の散華より暗転は明けて、舞台上に拡げられた一卷の清姫物語。これまでの「ゆきあひ」の出逢いを紡ぎ、祈りを密かに編みこんで装丁した、それは私の三〇周年の記念の帳でした。ゲストの皆様からの嬉しいコメント。一つの目的に向かってスナップ、出演者がひとつになって穏やかに、それぞれが尊敬しあつて進んでいった夢のような一週間だったと。舞台への執着はまだまだ深く、幕が降りる前、音と衣と光にくるまれて一時の安息。Long continuedの予感の中、静かに幕が降りた：出逢いという千の恵みに感謝。これからも千枚の絵巻物を描き続けよう。
 (報告：小島千絵子)

KODO CULTURAL FOUNDATION

鼓童文化財団

四／二四 丸の内朝大学・和太鼓クラス

「MY朝を、たのしもう」をキーワードに出勤前の一時間を活用して、学んだり、体験できる市民大学。昨年、新しい旅を考える「旅クラス」で佐渡を訪ね、たたこ

う館で太鼓体験をした受講生から強い要望でできたクラスで、申込受付開始から二分で定員一杯になったとのこと。齊藤藤一が講師で行われるこのクラスでは、六月に佐渡合宿も生まれ、ECのフリッジを目指してほとんどが太鼓初心者、二六人のビジネスパーソンが参加。GW開けに本格的に稽古が始まるのに先立ち、私が鼓童の歴史と背景についての講義を行いました。
 (報告：菅野敦司)

APPRENTICE CENTRE

研修所

五／十三～十六 岡田京子先生稽古

この二年間で二回しかない京子先生との唄の時間が終わってしまいました。去年はアイヌや韓国の民族の背景を考えながら歌い、今年は生命記憶というテーマの提示から、宮沢賢治の唄を習ったり、自分で唄を作るという作業。どちらも、とてもかけがえない時間でした。

僕は唄が好きです。皆で歌う唄も、一人で口ずさむ唄も。京子先生に教えて頂いて、僕は初めてアイヌや、リ・ファリョンさんの唄を知りました。心から素敵な唄だと思えます。いつか、アイヌの方の所へ行つて本物の響きを聞いてみたい。そして一緒に歌いたいです。京子先生から教わったこと、必ず活かしてもっと気持ちよく歌えるように頑張ります。日本の良き文化を忘れない為に、僕は生きていきたいと唄を通して思いました。きっと僕は一生歌い続ける唄を教えて頂きました。宝物をありがとうございます。
 (報告：二年生 地代純)



作：宮崎正美

鼓童佐渡特別公演〈春〉

4月27日から5月6日まで9日間に渡り、鼓童文化財団主催事業として行った「鼓童 佐渡特別公演」。おかげさまで歴史ある宿根木集落の小さな芝居小屋に1,100名ほどのお客様をお迎えすることができました。佐渡島内から、また遠方よりお越しいただいた皆様に感謝いたします。どうもありがとうございました。

報告●千田倫子 写真●岡本隆史



この企画が持ち上がったのは二〇一〇年の秋。翌年が鼓童結成三〇周年で、結成時のメンバーも勢揃いで全国ツアーを回る予定でした。そして二〇一二年には佐渡に恩返しという気持ちも込めて、そのベテランメンバーを中心に地元の人に呼ぶ公演ができないものかという想いが膨らんだのです。

会場の候補は、鼓童の前身の鬼太鼓座からのご縁も繋がる宿根木公会堂。その宿根木集落の町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、これまでも観光名所として集落の皆さんの暮らしの中にありました。そこに更に太鼓の公演で人を呼ぶとは… 鼓童はまた何の言い出したか、というのが当初の集落の方のお気持ちだったそうです。

交渉を繰り返し、一年半をかけて地域の役員の方々が集落の皆さんをまとめてくださり、今回の連続公演が実現しました。事前の準備期間から数えて二週間近く、生活の場に太鼓の音と沢山の人が集まることを許容してくださった集落の方々には本当に感謝の念に堪えません。この会場を得て出来上がった舞台は当然のことながら、素朴で温かな手作り感、心がホッと和むようなものになりました。演者にとって距離の近いお客様は難しい点もありますが、そこは経験豊富なベテランメンバーの面目躍如。その姿は、一緒に出演した若い研修生にとって、生きた教科書となりました。歴史を感じさせ、何か郷愁を誘うようなこの建物に、古きも新しきも存在したこと、そのこと

が自然の流れとしてお客様の心にスッと入り、感じ入ってくださったように思います。この公演の成功は、鼓童三〇年だからこそ味わえたものだったのだと、お客様のご意見から伺い知ることができました。

さて、来る七月六日〜十六日まで、連続公演第二弾「鼓童 佐渡特別公演・夏」を同じ会場、同じメンバーで開催いたします。どのような夏仕様でお客様をお迎えできるか、出演者、スタッフ一同、今から楽しみに準備してまいります。どうぞ、佐渡観光の一時、宿根木までお運びください。ゆつたりと楽しい時間を共にさせていただければ幸いです。

お客様のアンケートより

素晴らしかったです。胸に響きました。研修生の表情を見ながら涙が出そうになりました。高い志と技術で若い人を育て、のれん分けなどしながら、各地に活動を広げていけたらいいですね。(東京 男性)

縁あって毎年佐渡に来ており、以前この公会堂の前を通りましたが、また生き返ったような公演が行なわれるとは、夢にも思いませんでした。素晴らしい企画だと思えます。感動しました。楽しみに心打たれて。研修生の真つすぐな目と音に涙が止まりませんでした。(埼玉 女性)

鼓童はやっばり素晴らしい。世界の頂点を知って尚精進して居られる姿は、我等の誇りと思う。お身体に気をつけて益々活躍されますようお祈りしています。(佐渡 男性)

研修生の学び

〇一つの舞台を創り上げるのにどれだけ人の努力と協力があるのかを知った。演奏者は勿論、制作や裏方で支えてくれている力があってこそ、初めて舞台が出来るのだと。そして今回は宿根木の方々の温かい応援が何よりも大きな礎になっていたと思う。

〇同じ太鼓なのに僕たちと全く違う音、響き。吉利さんはどうして、あんな音が出せるのか。本当にいい音って何かを考えさせられました。吉利さんの表情や声、幹文さんはそれを評して「声を出そうと思っただけで出さず、顔も作っていない。ただ身体の中で動いているものが溢れ出しているだけだ」とおっしゃいました。

〇本番はすごく気持ちが良くて楽しい。が、それと同時に恐さも感じた。失敗したらどうしよう、と考え始めてしまうと、もうどうにもならない。熱い自分と冷静な自分を同時に兼ね備えるのは、口で言うのは簡単だが、実際に舞台の上での緊張感の中では、本当に大変なことだと思う。改めて舞台メンバーはプロなんだと思った。

〇鼓童が新しい時代を迎えつつある今、「元祖！鼓童」にどっぷり浸らせて頂き、感謝感激です。

鼓童佐渡特別公演〈春〉	
演出	小島千絵子
舞台監督	風間正文
制作	上之山博文
出演	藤本吉利 小島千絵子 藤本容子 山口幹文 鬼澤綾子 研修生二年生



芸術監督・坂東玉三郎氏インタビュー

可能性の扉をひらく鍵

坂東玉三郎さんは12年前の初演出当時から、若手の育成には特に力を注がれています。玉三郎さんの視点、声かけに呼応するように、彼らの可能性の扉は次々に開かれてきました。

玉三郎さんは若者たちの成長を促すどんな鍵を持っているのでしょうか。その育て方についての考えを伺いました。

聞き手●洲崎純子、西村信之 写真●岡本隆史、西田太郎

本番が人を伸ばす

——現在公演中の「鼓童ワン・アース・ツアー二〇一二」伝説」では、すでに準メンバーが大きな演目に抜擢されていますが、これはどのようなお考えからでしょうか。

打てる人はどんどん先に進ませる、それが若い人たちの一番の成長方法だと思います。十八歳から二五歳までの間に大役につけて本番を経験させるほうが、二五歳まで成長を待ってから役を与えるよりも、ずっと伸びます。

『大太鼓』のような演目は経験を重ねないと味がでない、ということもあるでしょうけれど、多くの太鼓の演奏は古典芸能のように年齢を重ねなくてはできない役柄があるわけではないので、今回の舞台の『カデン』のような曲は、若くても技術がしっかりしている人はメインに立たせるほうがよいのです。

歌舞伎の世界ではよく、大先輩たちが「この人は」と思う若手を大役につけて、まわりはそれを反対しないで応援するということが暗黙の了解としてあります。それは、二〇歳にしてある程度のポジションをとれなければ、その後に主役になるのは難しいという、私たちの世界の考えです。過去の名優達は十代で主役を張ったものです。ですから、二〇代ならばもう十分だと思います。

私が初めて鼓童を演出した時、石塚充君や小田洋介君が新人でした。小田君は当

新曲「カデン」。「広がる世界へ自由にはばたきなさい」というメッセージが込められています。



時、準メンバーでしたが、メンバーと同じように扱いました。そして、同世代の石塚君と競い合ったことも大きなことでした。その後も、「アマテラス」の時には坂本雅幸君が、そして中込健太君や前田剛史君も、それぞれの新人時代に重要なポジションを担うことで大きく伸びました。そうした先輩達が見れば、必ず、今の新人達もよい形で成長すると確信しています。

集中すること、外に目を向けること

——表現者を育む場として、鼓童の環境をどのように感じていらっしゃいますか。

佐渡では、まず自然に触られます。豊かな春夏、秋。冬は厳しいですけど、厳しい季節を過ごすことも大事です。特に太鼓のような木肌のものに接する人達は、やはり自然とともに過ごすことが大事です。

都会での生活は、まず一日中稽古に明け暮れる時間はとれません。すぐにどこでも行けるし情報も入るけれど、おかげで逆にやるが増えちゃったんですね。本当にやるべきこと以外の、やらなくていいことが増えてしまったんです。それにバーチャルリアティーの中に身を置くような都会の暮らしでは、生身の経験の味というものも薄れます。でもここにいと、そうした喧嘩から離れて、やるべきことに集中できる。この佐渡という風土で過ごすことはいいことですし、稽古するしかないという環境に身を置くことはいいことです。

若い人達には、まず最初に人としての基本的な物事を教えることが必要です。僕たちも、まずは礼儀を学び、師匠の着物をたたみ、草履を揃えるところからやってきました。礼儀作法は、形ではなく、本当の意味を理解させなければいけません。たとえば、「よろしくお願ひします」ってよく言うでしょう。ビジネスの世界ではよく聞く言葉です。でも舞台人は、お客様に「よろしく」なんて言わないものです。お客様や

目上の方に、「よろしく」なんて頼めますか。人を育てるといふのは、ただマニュアルで教えればよいというものではないんです。人として基本的なことを学ぶ場所として研究所が必要です。

しかし、単に佐渡にいただけでは成長できないこともあります。若い人達にとつてよくないことは、世間を知らないまま大人になることです。芸術はある意味、比較するものがあつて磨かれていくものです。ここにいるだけでは、比較する対象を持たないという意味ではマイナスです。佐渡の風土の中で郷土芸能のベースと匂いもある表現を身につけ、一方で、西洋音楽や世界の芸術を知り、洗練されていくことが大事です。

この環境にいれば、太鼓さえ打てれば誰かが面倒を見てくれる。生きるための糧を得るために太鼓を叩いているのだという感覚が薄くなることもマイナスです。若い人達が育つには、彼ら自身が外に目を向けること、そして指導する側も彼らにその機会を与え、目を向けさせるようにすることが大事です。

教えられない「心」

——玉三郎さんの指導を拝見していつも感じることは、とても感覚的・抽象的な言葉で伝えていらっしゃいますよね。

2011年9月と11月には研修生対象の集中指導が行われました。





研修生対象の集中指導の様子。

言葉はいろんな解釈ができます。同じ言葉でも、想像力でいろんな解釈ができるし、いろんな場面に当てはめることができるんです。

そして声をかけるのは、彼らが理解するタイミング、彼らのアンテナが立っている時です。そこを見逃さないことです。その人の中に具体的に何かあるときに、かけられた言葉の意味に気づくことができます。どんな言葉をかけても、受け取るタイミングがない人には何を言っても聞こえないし、人が言われているのを隣で聞いていて、はっと気がつく人もいます。それは、具体的な説明ではありません。抽象的な言葉でも感覚でわかるんです。あんまり説明的になると、それ以外のことがイメージできなくなりますが。

ただ的外れに教えても、彼らからは何も出てこないし、彼らが持っているいいものを見落とすこともあるんです。指導する者にとって大事なことは、何を言うかではなくて、いかに引き出すかだと思います。

ただし、その人に資質があっても、僕ではなく違う指導者の声かけの方がもっと伸びることもあります。これは、教える者と教えられる者との相性ですね。

でも、芸術的にどう育てるかということになると、実はカリキュラムだけでは教えられないことがあるんです。芸術家に育てようとしても、芸術家のマニュアルがあるわけではありません。踊りは教えられます。でも、踊り心は教えられません。音楽の心、太鼓心、舞台心。「心」は教えられない。

い。その人が持っていないものは引き出せないんです。そして、一対一で向き合い、お互いを感じ合って、わかり合うことでしか伝えられないことがあります。これが「伝」というものでしょうね。

最後に、芸術家として最も大切なこと。それは、その人自身が愛情が深くいい人間であるということです。テクニクだけの人は、花にはなれません。「花」になった時代のスター達には必ず、情がありました。そうでなければ、舞台の上では愛されないのです。どの時代も、最後にはその人に愛があるかどうかです。トップに立つ芸術家は、その意味を分かっているのです。



「鬼太鼓」を踊る準メンバーの小松崎正吾と花岡哲海を舞台上で指導。

城山コンサート『祝祭』ゲスト

あが つま ひろ みつ
上妻宏光

— 響鳴する現代の伝統 —



三月、鼓童村での稽古の様子。太鼓の深い振動の中に、三味線の繊細な音色が響く。(写真:洲崎純子)

八月十九日(日)の城山コンサート『祝祭』には、日本を代表する三味線奏者・上妻宏光さんをゲストにお迎えします。昨年五月にイベントで共演。以来、太鼓と三味線という「たたく」楽器を携え、日本の伝統を、世界へ、そして現代に発信する同時代の芸能者として、互いに深く共鳴。上妻さんはすでに三月に佐渡に来島し、鼓童メンバーと事前稽古を行いました。両者の響きが佐渡で胎動を始めています。八月の『祝祭』本番に向けて、上妻さんと鼓童代表の見留知弘に意気込みを聞きました。

寄稿／三味線プレイヤー 上妻宏光

日頃から生活や旅を共にし作品作りをされている鼓童の皆様の中に入って演奏させてもらうのは、簡単でないことは承知していました。三月に佐渡にうかがい第一回目のリハーサルをさせていただきましたが、初めから音楽の全てがピタリと合うわけはありません。でも、時間をかけ練習を進めるにつれて、共に日本の文化風土から生まれた太鼓と三味線は、自然と同じ空間の空気を響鳴し始めていきました。和楽器の持つグループや間々の感覚が根本に流れている事もあるでしょうが、佐渡という地が僕に何かを与えてくれている…という感覚が生まれ始めていたのです。夏の本番に向け、まだまだ多くの時間を佐渡で鼓童の皆様と共にし、生まれてくる何かを僕自身も楽しみにしています。

そして今回は公演以外にもレクチャーの機会をいただいています。そこではこれまででの活動を通じて僕自身が感じてきた津軽三味線そして邦楽の魅力や可能性を、演奏を交えてお話しさせていただきます。

では、今年の夏、皆様と佐渡でお会いできることを楽しみにしています。

鼓童代表 見留知弘より

三月の稽古はとても充実した時間となりました。鼓童から共演したい楽曲の曲調に合わせて、色々なメロディーが次々と生み出されていく様子は、たくさんの絵の具を持ち合わせているかのようにどんな色にでも変化し、そして時には強い、時には繊細な表現になるようにさえ思いました。伝統的な曲との共演については、時間をかけて練り上げ、妥協をしない姿勢に頭が下がりました。

三味線も太鼓も、もとは伴奏楽器としての役割でしたが、時を経て表舞台で活躍する変化を遂げてきました。色々なジャンルとの共演を重ねてきた上妻さんが、鼓童との共演でどんな音楽を生み出すのか楽しみにですし、私達も色々なアプローチが出来るようにしたいです。

日本の伝統楽器の可能性を試みている活動は、楽器は違えどお互いに同じ精神なので、野外という解放された空間で、その瞬間に発せられるエネルギーを皆さん、一緒に楽しみましょう。

上妻宏光
「レクチャー&デモンストレーション」

8月18日(土) 10:00~12:00 離島センター3階

上妻宏光さんによるトークと演奏を身近に体験できるチャンスです。伝統を土台に、三味線の可能性を切り拓いて来た上妻さんが、三味線の歴史や楽器の構造、日本の民謡の成り立ちを、国内・海外の音楽活動やエピソードなどを交えて分かりやすく伝えます。また、古典曲とオリジナルの現代曲を織り交ぜた生演奏や、ミニ体験コーナー、質疑応答もあります。

申込、詳細はEC公式サイトで！
<http://www.kodo.or.jp/ec/>



山野さんのアルバム拝見 (第十回)

構成 ● 山口康子
写真提供 ● 山野實さん

EC 25周年記念

EC 初期のアルバムから、今はもう見られなくなってしまった、懐かしい場所や風景をご紹介します。



上：佐渡汽船旧乗り場。その後改修して、2009年まで日本アマチュア秀作美術館として使用されました。小木みなと公園（ハーバーマーケット）ができる以前は、この建物の周辺で鼓童フリンジほか様々なパフォーマンスが行われていました。

右：佐渡汽船旧乗り場は、1988年の第一回EC開催に合わせて建物の内も外も黒田征太郎さんの絵で埋め尽くされました。1989年には浅野太鼓の浅野昭利さん（左。右は山野實さん）においでいただき、レクチャー「太鼓の作り方」と「民族打楽器展」、「太鼓相談室」を開催しました。



左：最初のEC案内所。1992年に現在のマリンプラザ(上)に建て替えられました。

下2点：ECの片付け日の夜に本部棟で打ち上げ。廊下を客席にしての余興大会。ゲストが舞台にして踊ってくれた座敷はリフォームして、現在は事務所スペースとなっています。(1991年)



KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(5月31日現在)

ワン・アース・ツアー ～伝説 6月

6/12(火) 岡山県津山市

津山文化センター
JR「津山」駅よりごんごバス9分。徒歩20分
18:30 開場 19:00 開演
前S席4,000円 A席3,500円 学生2,000円(A席のみ)
当S席4,500円 A席4,000円 指 チケット発売中
未就学児の入場は不可 託 要予約
問) 津山文化振興財団
Tel. 0868-24-0201

6/13(水) 岡山県高梁市

高梁総合文化会館
JR「備中高梁」駅下車徒歩約7分
18:00 開場 18:30 開演
前S席5,000円 A席4,000円
当日は各500円増 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 高梁総合文化会館
Tel. 0866-22-1040

6/16(土) 岐阜県下呂市

下呂交流会館アクティブ 泉ホール
JR「下呂」駅から車で約7分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共4,000円
高校生以下3,000円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 下呂交流会館
Tel. 0576-25-5000

鼓童と和太鼓の仲間たち それぞれの祭り音まつりね

6/19(火) 東京都港区

サンアリーホール 大ホール
(港区赤坂1-13-1)
南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)
徒歩約5分。銀座線・南北線「溜池山王」駅(13番出口) 徒歩7～10分
出演:鼓童、日本航空高等学校 太鼓隊、女川潮騒太鼓轟会
17:45 開場、18:30 開演
S席4,500円、A席3,500円、B席2,500円
※チケットの送料・手数料として1回の

ご注文につき400円が別途かかります。配送日時と配送方法の指定はできません。
※出演者が変更になる場合がございます。
※車いす専用のお席もごさいます。
※未就学児のご入場はできません。
主催:認定NPO法人 難民を助ける会
共催:社会福祉法人 さぼうと21
企画・製作:日本ロレックス株式会社
制作:株式会社北前船
製作協力:株式会社ニブリック
申込・問) 認定NPO法人 難民を助ける会 Tel. 03-5423-4511 (電話受付時間:月～土 10:00～18:00) <http://www.aarjapan.gr.jp/>

ロレックス presents 鼓童「打男 DADAN」

演出:坂東玉三郎
特別協賛:日本ロレックス株式会社

7/2(月)-4(水) 東京都港区

赤坂 ACTシアター
東京メトロ千代田線「赤坂」駅徒歩1分
2日 18:30 開場 19:00 開演
3,4日 13:30 開場 14:00 開演
前・当共S7,500円 A5,500円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 打男首都圏チケットセンター
Tel. 0570-00-3117
(平日10:00～18:00)

7/7(土),8(日)

神奈川県横浜市

KAAT 神奈川芸術劇場ホール
みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩5分。JR・横浜市営地下鉄「関内」駅徒歩15分
7日 17:30 開場 18:00 開演
8日 13:30 開場 14:00 開演
前・当共S7,500円 A5,500円 指
チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 打男首都圏チケットセンター
Tel. 0570-00-3117
(平日10:00～18:00)

7/10(火) 愛知県名古屋

日本特殊陶業市民会館フォレストホール
(※7/1より名称変更。現・中京大学文化市民会館(名古屋市民会館))

地下鉄名城線「金山」駅から徒歩1分。
JR中央本線・東海道本線・名鉄本線「金山」駅から徒歩5分
18:00 開場 18:30 開演
前・当共S6,500円 A5,500円 B4,500円 指 チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 中日劇場 Tel. 052-263-7171

7/14(土)-16(月・祝)

熊本県山鹿市

八千代座
JR「玉名」駅より山鹿行産交バス利用40分
直通バス:博多駅筑紫口11:00→八千代座12:45 / 八千代座17:00→博多駅19:00 頃着予定
13:00 開場 14:00 開演
前・当共S席7,500円 A席5,500円 指 チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) 八千代座公演事務局
Tel. 0968-43-0202

7/20(金)-22(日)

京都府京都市

南座
京阪電鉄「祇園四条」駅よりすぐ。阪急電鉄「河原町」駅徒歩3分
13:30 開場 14:00 開演
前・当共一等7,500円 二等5,500円 指 チケット発売中
未就学児の入場は不可
問) チケットホン松竹
Tel. 0570-000-489

鼓童 佐渡特別公演〈夏〉

7/6(金)-16(月・祝)

全10回公演(7/11は休演)
新潟県佐渡市
宿根木公会堂(小木地区)
14:30 開場 15:00 開演 16:00 頃終演
前3,500円
小人(4才～小学生)1,500円
当日は各300円増し 自
鼓童の会会員特別価格:大人3,000円 小人1,000円
※会員特別価格は前売りのみです。
定員各回約150名。定員に達し次第販売を終了します。
3才までの乳幼児は、無料でご入場いただけます。
団体割引あり。詳細はお問い合わせください

(5月31日現在)

さい。
問) 鼓童チケットサービス
Tel. 0259-86-2330 (月～金 / 9:30～17:00)

**アース・セレブレーション
2012**

**8/17(金)-19(日) 佐渡市
城山コンサート** 会場: 城山公園

8/17 18:30～20:30
鼓童「まつりはじめ」
(演出: 吉井盛悟)
1日券 前 4,700円 当 5,000円
8/18 18:30～20:30
鼓童「打男 DADAN」EC スペシャル (演出: 坂東玉三郎)
1日券 前 4,700円 当 5,000円
8/19 17:00～19:30
「祝祭」鼓童 with 上妻宏光
(演出: 船橋裕一郎)
1日券 前 5,200円 当 5,500円
8/17～19 通し券 13,000円
8/17+18 前 2日券 8,400円
8/18+19 後 2日券 8,900円
※通し券と2日券は前売のみです。
※学生券(高校生以上～24歳以下の学生) 前 3,500円 当 3,800円 鼓童チケットサービス (Tel. 0259-86-2330) と佐渡島内一部のプレイガイドでのみ取り扱います。チケットをお渡しする際に年齢が確認できる物のご提示をお願いする事があります。
※中学生以下は無料。
※城山コンサートは雨天決行です。但し、荒天等主催者が危険と判断した場合は中止することがあります。

単発ワークショップ

お気軽太鼓教室 講師: 齊藤栄一 / 8/17 10:00～12:00 / 小木体育館 / 小学5年生以上 / 5,000円 バチ代込み
篠笛講座～より良い音を求めて～
講師: 山口幹文 / 8/17 10:00～12:00 / 離島センター3階 / 中学生以上 (篠笛の経験(何か一曲吹ける程度)のある方) / 3,000円 笛貸出
千絵子流女打ちの基本 講師: 小島千絵子 / 8/17 14:00～16:00 / 小木体育館 / 中学生以上の太鼓経験者 / 5,000円 バチ代込み
ヴォイス・サークル 講師: 藤本容子 / 8/17 14:00～16:00 / 離島センター

3階 / 小学4年生以上 / 3,000円
八丈太鼓 講師: 浅沼宏雄 (楽鼓会) / 8/18 10:00～12:00 / 小木体育館 / 太鼓経験者 (年齢問わず) / 4,000円 バチ貸出
上妻宏光レクチャー&デモンストレーション 講師: 上妻宏光 / 8/18 10:00～12:00 / 離島センター3階 / 小学生以上 / 4,000円
小木おけさ 地方(じかた)と踊り(太鼓、笛、唄、踊り) 講師: 小木さざなみ会(佐渡) / 8/18 14:00～16:00 (太鼓のみ 13:30～16:00) / あゆす会館 / 小学生以上 / 2,000円 笛・バチ貸出
チャッパ大好き 講師: 今海一樹 / 8/18 14:00～16:00 / 離島センター3階 / 高校生以上 / 3,000円 チャッパ貸出
浜河内鬼太鼓 講師: 河内若手の皆さん(佐渡) / 8/19 9:45～12:15 / 離島センター3階 / 小学4年生以上 / 2,000円
三宅太鼓 講師: 三宅島芸能同志会(津村親子) / 8/19 10:00～12:00 / 小木体育館 / 小学4年生以上 / 4,000円 バチ貸出
あなたも太鼓打ちに! 講師: 藤本吉利 / 8/19 13:00～15:00 / 小木体育館 / 中学生以上 / 5,000円 バチ(桶太鼓用)代込み

チケット発売中

チケットの購入、ワークショップの申込には申込書をご利用になるか、アース・セレブレーションのホームページから直接お申し込みください。チケット・ワークショップ申込書はアース・セレブレーション実行委員会へご請求ください。ホームページからダウンロードもできます。**ワークショップの申込一次締切は6月22日(金)**です。
アース・セレブレーション ホームページ
<http://www.kodo.or.jp/ec/>
アース・セレブレーション実行委員会(鼓童文化財団内) Tel. 0259-81-4100

**小島千絵子
ゆきあひのんた!ライブ in 周南**

8/25(土) 山口県周南市

周南市民会館 大ホール (Tel. 0834-22-8650)
出演: 小島千絵子(踊り、和太鼓)、博之丞(唄、鳴り物)、森美和子(篠笛、能管)、西野貴人(和太鼓)、町元健

太(和太鼓)、鬼澤綾子(和太鼓、踊り) 18:00 開場 18:30 開演
前 3,000円 高校生以下 1,000円
当日各 500円増 自
※東日本大震災の災害遺児にチケット代の5%を寄付します。
チケット取扱い: 周南市民会館、周南市文化会館、スターピア下松、演奏堂
問) 実行委員会 江本保
Tel. 090-8606-6543

**鼓童&タイコース・イン・コンサート
オーストラリア**

ツアー期間: 2012年9月15日～28日
他の公演地は、後日発表予定です。

9/15(土) キーンズランド州ブリスベン

Concert Hall, Queensland Performing Arts Centre
19:30 開場 20:00 開演
6/20(水) 発売
問) Qtix Tel. 136 246

9/22(土) オーストラリア首都特別地域、キャンベラ

Canberra Theatre Centre
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. (02) 6275 2700

9/24(月) ビクトリア州メルボルン

Hamer Hall, Arts Centre Melbourne
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. 1300 182 183

9/26(水) ニュー・サウス・ウェールズ州ニューカッスル

Civic Theatre Newcastle
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. (02) 4929 1977

9/27(木), 9/28(金)

ニューサウスウェールズ州シドニー
City Recital Hall
19:00 開場(予定) 19:30 開演
チケット発売中
問) Tel. (02) 8256 2222

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(5月31日現在)

ワン・アース・ツアー ～伝説
9～10月

9/9 (日) 新潟県柏崎市

柏崎市文化会館アルフォーレ
JR 信越本線「柏崎」駅徒歩7分
13:30 開場 14:00 開演
前・当共 4,500 円 指
6/17 (日) 発売
未就学児の入場は不可 託
問) 柏崎市文化会館アルフォーレ
Tel. 0257-21-0010

9/11 (火) 岩手県葛巻町

葛巻町社会体育館
前・当共 一般 4,000 円 小学生以上高校生以下 2,000 円 自
未就学児の入場は不可
問) 葛巻町教育委員会
Tel. 0195-66-2111 (内線 270)

9/12 (水) 岩手県北上市

北上市文化交流センターさくらホール
JR「北上」駅より車で10分。東北自動車道「北上・江釣子」I.C.より車で10分
18:30 開場 19:00 開演
前・当共 1,2 階席 4,000 円 ベア 3,500 円×2 枚 (ベア券取り扱いはさくらホールのみ) 3 階席 2,000 円 指
6/24 (日) 発売
未就学児の入場は不可
問) 北上市文化交流センターさくらホール
Tel. 0197-61-3500

9/14 (金) 山形県山形市

シベールアリーナ
JR (山形新幹線)「かみのやま温泉」駅より車で15分、「山形」駅より車で20分、路線バスあり
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 4,000 円 指
6/8 (金) 発売
未就学児の入場は不可
問) シベールアリーナ
Tel. 023-689-1166

9/15 (土) 福島県郡山市

郡山市民文化センター大ホール
東北新幹線「郡山」駅より徒歩20分、車で5分。バスは11番より「池の台」経由の各路線で「文化センター」下車
18:00 開場 18:30 開演予定
前・当共 一般 4,500 円 学生・車椅子 2,250 円 指

6/10 (日) 発売
未就学児の入場は不可
問) 郡山市民文化センター
Tel. 024-934-2288

9/16 (日) 茨城県ひたちなか市

ひたちなか市文化会館
JR 常盤線「勝田」駅より徒歩15分
18:00 開場 18:30 開演
前 4,000 円 当 4,500 円 指
6/16 (土) 発売
未就学児の入場は不可 託 公演の1週間前まで申込、1人 1,000 円
問) ひたちなか市文化会館
Tel. 029-275-1122

9/20 (木) 静岡県静岡市清水区

静岡市清水文化会館マリナート大ホール
東海道線「清水」駅みなと口徒歩3分
18:00 開場 18:30 開演
前 5,000 円 当 5,500 円 指
6/9 (土) 発売
4才以下入場不可
問) エンボス Tel. 053-412-1010
静岡第一テレビ Tel. 054-283-8115

9/23 (日) 愛知県扶桑町

扶桑文化会館
名鉄犬山線「扶桑」駅下車、西へ徒歩10分
16:30 開場 17:00 開演
前・当共 S 席 4,500 円 A 席 3,800 円 指
6/2 (土) 発売
問) 扶桑文化会館 Tel. 0587-93-9000

9/26 (水) 滋賀県彦根市

ひこね市文化プラザ グランドホール
JR 東海道 (琵琶湖) 線「南彦根」駅より徒歩25分、車で5分
18:15 開場 19:00 開演
前・当共 1 階席 4,500 円 2 階席 3,500 円 指
6/10 (日) 発売
未就学児の入場は不可 託 9/15 (土) までに申込み、1人 1,000 円
問) ひこね市文化プラザチケットセンター
Tel. 0749-27-5200

9/27 (木) 大阪府茨木市

茨木市市民会館 (ユアアイホール) 大ホール
JR 東海道本線「茨木」駅より東へ徒歩10分、阪急京都線「茨木市」駅より西へ徒歩10分
18:30 開場 19:00 開演

前・当共 一般 4,000 円 65才以上・障害者及びその介助者 3,500 円 青少年 (24歳以下) 2,000 円 指
6/27 (水) 発売
未就学児の入場は不可
問) 茨木市文化振興財団・文化事業係 Tel. 072-625-3055

9/30 (日) 兵庫県養父市

養父市立ビバホール
JR「八鹿」駅より車で5分
18:30 開場 19:00 開演
前 3,500 円 当 4,000 円 指
8/8 (水) 発売
未就学児の入場は不可 託
問) 養父市立養父公民館
Tel. 079-664-1141
※先行予約のご案内は7月号で行います。

10/2 (火) 島根県松江市 先

鼓童で先行予約を行います。10ページの囲みをご参照ください。
島根県民会館 大ホール
JR 松江駅よりバス10分「県民会館前」下車
18:00 開場 18:30 開演
前・当共 S 席 4,500 円 A 席 4,000 円 指 小・中・高生 2,000 円 (当日座席指定)
7/14 (土) 発売
未就学児の入場は不可 託 無料、要予約 (9/25 締切り)
問) 島根県民会館チケット・コーナー
Tel. 0852-22-5556

10/3 (水) 鳥取県鳥取市

鳥取市民会館
JR「鳥取」駅より徒歩20分
18:00 開場 18:30 開演
前 1,2 階席 4,500 円 3 階席 2,500 円 当日各 500 円増 指
7/14 (土) 発売
未就学児の入場は不可
問) 鳥取市民会館 Tel.0857-24-9411

10/6 (土) 山口県下関市 先

鼓童さくがわ公演事務局で先行予約を行います。
電話受付: 笹山 Tel. 090-4692-5217
受付期間: 7月10日 9:00 ~ 13日 17:00
お支払方法などはお電話で確認ください。
下関市菊川ふれあい会館 アブニール
山陽本線「小月」駅よりバスで25分 (西市方面田部下車)
18:00 開場 18:30 開演
前 1 階 S 席 5,500 円 A 席 5,000 円

(5月31日現在)

2階 4,500円 当日各 500円増 **指**
 7/14 (土) 発売
 未就学児の入場は不可 **記** 要予約
 問) 第5回 鼓童きくがわ公演事務局
 笹山 Tel. 090-4692-5217

10/7 (日) 福岡県北九州市 **先**

鼓童で先行予約を行います。下記の囲み
 をご参照ください。
 北九州芸術劇場 中劇場
 JR「西小倉」駅より徒歩3分、「小倉」
 駅より徒歩10分
 17:30 開場 18:00 開演
 前 一般 5,000円 学生 2,500円
 当日各 500円増 **指**
 8/5 (日) 発売
 未就学児の入場は不可 **記**
 問) 北九州市芸術劇場
 Tel. 093-562-2655

10/8 (月・祝) 長崎県雲仙市

ハマユリックスホール
 JR「諫早」駅より車で60分。島鉄バ
 ス「板引」バス停より徒歩1分
 18:00 開場 18:30 開演
 前 4,000円 当 4,500円 **指**
 7/5 (木) 発売
 未就学児の入場は不可
 問) 雲仙市教育委員会
 Tel. 0957-37-3113

10/12 (金) 宮崎県宮崎市 **先**

鼓童で先行予約を行います。下記の囲み
 をご参照ください。
 メディキット県民文化センター演劇ホール
 (宮崎県立芸術劇場)
 JR「宮崎」駅より車で10分

宮崎交通バス(橘通三丁目バス停より)
 で①国富・綾行き、平和が丘行き、古
 賀総合病院行き「文化公園前」下車
 徒歩1分 ②文化公園行き終点より徒
 歩1分 ③宮崎神宮行き終点より徒
 歩5分 ④平和台行き「霧島三丁目」下
 車徒歩4分

18:00 開場 18:30 開演
 前・当共 S席 5,000円 A席 4,000円
指
 7/7 (土) 発売予定
 未就学児の入場は不可
 問) 宮崎放送 Tel. 0985-27-6619

10/13 (土) 鹿児島県鹿児島市

先 鼓童で先行予約を行います。下記の
 囲みをご参照ください。
 宝山ホール(鹿児島県文化センター)
 JR「鹿児島中央」駅、「鹿児島」駅から、
 電車「朝日通り」下車。市営バスほか「金
 生町」下車
 17:00 開場 17:30 開演
 前・当共 5,000円、学生(高校生以
 下) 3,000円、おトクシート(ペア券) 2
 枚 9,000円 **指** (おトクシートの取扱は鹿
 児島音協のみ)
 7/21 (土) 発売
 未就学児の入場は不可
 問) 鹿児島音協 Tel. 099-226-3465

10/21 (日) 長野県軽井沢町

軽井沢大賀ホール
 JR 長野新幹線・しなの鉄道「軽井沢」
 駅下車、北口より徒歩7分
 15:30 開場 16:00 開演
 前・当共 S5,500円 A4,500円
 B(2階立見) 3,000円 W(2階合唱席)

3,000円 **指**
 7/7 (土) 発売
 未就学児の入場は不可
 問) 軽井沢大賀ホール チケットサービス
 Tel. 0267-31-5555

鼓童塾～齊藤栄一の太鼓篇

10/31 (水) - 11/4 (日)

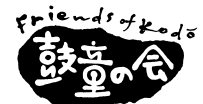
佐渡市柿野浦 鼓童文化財団研修所
 4泊5日
 指導: 齊藤栄一(鼓童)、日本語で進
 行します
 費用: 55,000円(宿泊費・バチ代込み)
 ※鼓童の会の会員の方は 50,000円
 対象: 15歳以上の男女(2名以上の
 グループ参加は不可)
 募集人員: 20名
 応募方法: ハガキにて(メールは不可)、
 「鼓童塾 齊藤栄一の太鼓篇希望」と
 明記し、氏名・フリガナ・住所・年齢・
 性別・連絡用メールアドレス又は電話番
 号・職業・音楽経験・鼓童の会の方は
 会員番号・何でこの塾をお知りになっ
 たかをお書きの上、ご応募ください。応募
 者多数の場合、選考させていただきます、7
 月20日頃に参加の可否をご連絡いたし
 ます。
 送り先: 〒952-0611 新潟県佐渡市小
 木金田新田 148-1
 鼓童文化財団 担当: 千田(ちだ) Tel.
 0259-81-4100
 応募締切: 6/30 (土) 当日消印有効

鼓童の会チケット先行予約のご案内

先 のマークがある公演については、一般前売りに先がけて鼓童の会会員の皆さまへ「先行予約」
 を行います。鼓童で受付を行う公演地は松江市、北九州市、宮崎市、鹿児島市です。

申込期間: 6月22日(金) 9:30 ~ 6月25日(月) 17:00

受付方法: プレオーダー、ファクス、郵送



ホームページからのお申込
 (プレオーダー)

「鼓童チケット予約サイト」(URL <https://www.e-tiket.jp/>) からログイン。
 (初めてご利用の方は ID とパスワードの登録が必要。) 指示に従って入力してください。

申込用紙でお申込

鼓童サイトの「鼓童チケットサービスより先行予約のご案内」
 ページから申込用紙をダウンロードしてください。

鼓童事務局までお電話もしくはファクスで申込用紙をご請
 求ください。郵送もしくはファクスにて申込用紙をお送りい
 たします。Tel. 0120-32-0015 Fax. 0120-86-3699
 (どちらもフリーダイヤル)

ご注意ください
 お名前の記入漏れやファクスで裏面を
 送付してこられる方がいらっしゃいます。
 先行予約受付終了後10日ほどで、
 請求書またはクレジット決済案内が届
 いていない方はお問い合わせください。

この後も先行予約は決まり次第、
 随時ご案内いたします。

藤本吉利、山口幹文 ソロ活動

〔藤本吉利 ソロ活動〕

2012ふくしま太鼓フェスティバル

「復興のためのイベントではなく、これまで続けてきたものをこれまで通りにやる。」そんな地元の意気込みが伝わってくる福島での太鼓フェスティバル。県内13団体とゲストが集う太鼓三昧の一日です。藤本吉利は、今福優さんと共演いたします。

祝う会が石川県白山市で開催されます。太鼓仲間が集まり、鼓童からは藤本吉利が友情出演させていただきます。

〔山口幹文 ソロ活動〕

「風の彩 二管の綾 其の四」

山口幹文と、京都を拠点に活動している森美和子さん、二人の笛奏者によるコンサートツアーが9月に行われます。真田と篠田、二管の織りなす深い響きと、小規模会場ならではの息遣いをお楽しみください。

太鼓道五十年 菊池隆「八丈太鼓の名医」還暦を祝う会にゲスト出演

八丈太鼓の名医である菊池隆さんの還暦を

藤本吉利 ソロ活動

2012ふくしま太鼓フェスティバル

日時：6月24日(日) 10:00～15:30

出演：福島県内13団体、藤本吉利(鼓童)、今福優
マウイ太鼓(ハワイ州マウイ島)、助六太鼓(東京)、天城連峰太鼓(静岡)

会場：ユラックス熱海(郡山市熱海温泉)

入場料：2,000円(当日2,500円/発売中)

問：福島民報社 Tel.024-531-4173

太鼓道五十年 菊池隆

「八丈太鼓の名医」還暦を祝う会

日時：9月15日(土) 18:00より

会場：グランドホテル松任 グローリーホール

石川県白山市西新町152-7 Tel. 076-274-0001

会費：12,000円(ライブ演奏+ディナー)

出演：菊池隆(八丈太鼓の会)

友情出演：藤本吉利(鼓童)、今福優、山本綾乃

主催：菊池隆の還暦を祝う会実行委員会

発起人：浅野昭利(財団法人浅野太鼓文化研究所理事長)

※当日、会場のホテルにご宿泊の場合は、お一人様朝食付き6,000円でご利用いただけます(宿泊のみの場合は5,000円)。

問：Tel. 076-278-5170 (小野)



山口幹文「風の彩 二管の綾 其の四」

料金：前売3,000円、当日3,500円 全席自由

チケット申し込み・問い合わせ：Tel. 090-7094-8875 (森)

Email：info@fuefuki.org

※綾部公演はワンドリンク付き

※山武市公演は別企画なため料金が異なります

企画・制作：ユクリ(山武市公演を除く)

協力：公益財団法人 鼓童文化財団

9月14日(金)京都府綾部市

会場：若宮酒造 酒蔵

(味方町薬師前4 Tel. 0773-42-0268)

※駐車場があります。

開演：18:30 (開場30分前)

ワンドリンク(地酒、コーヒー、紅茶)付き

共催：月灯りコンサート実行委員会

問：柏原 Tel. 0773-42-9809、Tel. 090-8574-3658

9月15日(土)京都市

会場：ちおん舎(中京区衣棚三条上る突破町126

Tel. 075-221-7510)

開演：昼の部 14:00 / 夜の部 18:30 (開場各30分前)

9月16日(日)神戸市

会場：神戸芸術センター Schumann Hall シューマンホール

(中央区熊内橋通り7-1-13 Tel. 078-241-7477)

開演：14:00 (開場30分前)

9月17日(月・祝)和歌山市

会場：緑風舎(野崎165 Tel.073-455-2313)

開演：14:00 (開場30分前)

9月19日(水)名古屋市

会場：想念寺

(熱田区旗屋町509 Tel. 052-671-8639)

開演：19:00 (開場30分前)

9月21日(金)【別企画】千葉県山武市

成東文化会館のぎくプラザ サロンコンサート vol.129

会場：成東文化会館 エントランスホール (殿台290-1)

開演：19:00 (開場30分前) 入場料1,000円

主催・問：のぎくプラザ Tel. 0475-82-5222

9月23日(日)札幌市

会場：ザ・ルーテルホール The Lutheran Hall

(中央区南大通り西6丁目仲通り 札幌ルーテルセンタービル2F Tel. 011-251-1311)※有料駐車場があります。

開演：19:00 (開場30分前)

プレイベント

たたこ館太鼓体験ウィーク「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

日時：8月10日(金)～16日(木) 10:00/13:30/15:00

13日(月)は休館、16日は10:00のみ

場所：佐渡太鼓体験交流館(たたこ館)

料金：1,500円、小学生800円 定員：各回25名

問：佐渡太鼓体験交流館 Tel. 0259-86-2320

Email: info@sadotaiken.jp

佐渡薪能公演

8月15日(水) 第一夜 椎崎・諏訪神社能舞台公演

演目：能「天鼓一弄鼓の舞」(てんこーろうこのまい) / 狂言「痺」(しびり) / 創作ダンス「KURUI」

8月16日(木) 第二夜 春日神社能舞台公演

演目：能「トキ」 / 狂言「二九十八」(にくじゅうはち) / 創作ダンス「KURUI」

両日共 時間：18:30開場、19:00開演、20:30終演予定

料金(全席自由)：前売 大人3,000円、小中高生1,500円

当日 大人3,300円、小中高生1,700円

2会場通し券(前売のみ)大人5,000円、小中高生2,500円

問：佐渡観光協会 Tel. 0259-27-5000

Email: info@visitsado.com

<プレイベント 太鼓体験と薪能>

たたこ館太鼓体験ウィーク「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

しんちゃんせんせいと太鼓を叩く初心者向けプログラムです。お子様から大人まで、太鼓の振動を体いっぱい楽しみましょう。

佐渡薪能公演

椎崎・諏訪神社(佐渡市原黒・両津地区)と春日神社(佐渡市相川下戸村)で行われます。出演は津村禮次郎(能)、小笠原匡(狂言)、森山開次(ダンス)ほかの皆さんです。

<EC関連企画>

EC期間中に佐渡島の魅力発見5コース

アース・セレブレーション期間中、佐渡の自然や歴史を一步掘り下げてお楽しみいただける催しがあります(佐渡体験交流フェスティバル)。佐渡ピーターの方もきっと新しい発見がある、半日または一日の体験プログラムです。

EC期間中に佐渡島の魅力発見5コース

琴浦シーカヤック体験 / 大佐渡・天然杉巨木散策 / 小木半島ジオツアーリズム / 町屋めぐり小木湊 / 宿根木歴史探索
詳細はECホームページ<http://www.kodo.or.jp/ec/> をご覧いただくか、佐渡太鼓体験交流館(Tel. 0259-86-2320)まで資料をご請求ください。

玉三郎「美」の世界展

期間：6月24日(日)まで

会場：京都南座

開場時間：9:30～19:00

入場料：1,000円

※特別公演を観覧の場合は観劇料に入場料が含まれます。

問：京都南座

Tel. 075-561-1155

京都・南座で坂東玉三郎さんの特別公演が行われており、同時に「玉三郎「美」の世界展」が開催されています。豪華絢爛な衣装や舞台シーンなどが写真パネルで展示されており、「アマテラス」や佐渡の様子も紹介されました。

「玉三郎「美」の世界展」で「アマテラス」紹介

篤信彦のエネルギー・トーク

日時：6月17日(日)、24日(日) 23:00～23:30

出演：篤信彦(経済ジャーナリスト)

放送局：TBS(東京)、HBC(北海道)、TBC(仙台)、KNB(富山)、CBC(名古屋)、ABC(大阪)、RCC(広島)

RNC(高松)、RKB(福岡)、RBC(沖縄)

※時間帯は各局異なります。

http://www.tbs.co.jp/radio/format/shima.html

見留知弘 ラジオ出演
TBSラジオ「篤信彦のエネルギー・トーク」という番組に見留知弘が「週にわたりトーク出演します。また、放送後には番組サイトでも聞くことができます。ぜひお聞きください。」

「新潟 WEEK!」佐渡特集 6/1号 プレゼント

ハガキかファックスに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業(学年)、電話番号、お持ちの方はメールアドレスを明記し、以下の宛先へご応募下さい。

〒950-8681 新潟市中央区女池南3-2-32

(株)ニューズ・ライン WEEK! 編集部

「鼓童6月号 新潟WEEK! 6/1号プレゼント」係

Fax. 025-280-1011 応募締切：6/22(金)必着

当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

問：(株)ニューズ・ライン販売促進部

Tel. 025-280-1010

http://www.week.co.jp/niigataweek/



佐渡特別公演(夏)7月6日～16日
終演後に小木行き臨時バス
「鼓童佐渡特別公演(夏)」の期間中、終演後に宿根木発小木行きの特別バスが運行されます。路線バスを乗り継いでお越しになる方には、新潟交通の一日乗り放題フリー乗車券がお得(1500円)です。問：新潟交通佐渡(Tel. 0259-57-2121)。また、旅行会社の宿泊プラン・ツアーや、佐渡汽船の割引プランもあります。詳しくは鼓童ホームページをご覧ください。

雑誌「新潟WEEK!」プレゼント
新潟県内の書店・コンビニなどで販売中の雑誌「新潟WEEK!」の6月1日号でECなど夏の佐渡のまどろろを紹介しています。この佐渡特集号を同誌編集部のご厚意により、月刊鼓童の読者10名様にプレゼントいたします。



鼓童ワン・アース・ツアー 2012 ～伝説より『モノクローム』(写真:岡本隆史)

◆「打男 DADAN」特別番組が放映されます◆

7月に開催する「打男 DADAN」公演に先立ち、特別番組が放映されます。坂東玉三郎さんのインタビューを中心に、2月に行われたパリのシヤトレ座公演の様、鼓童村での稽古風景などを収録したドキュメンタリーです。以下の日程・放送局で放映されます。どうぞご覧ください。

「打男 DADAN」特別番組「坂東玉三郎 佐渡からパリへ」

日時:6月17日(日) 14:00~14:54

放送局:BS-TBS (TBS系BSデジタル放送局)

※時間帯、日程などは予告なく変更になる場合があります。どうぞご了承ください。



鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼大量の服、本、雑誌、CDなどを処分し、「断捨離」を決行しました。完璧にはほど遠いながら、手放す物への感謝の気持ちや、「自分にとって本当に必要なもの」を考えるよい機会になりました。生き方がちよつと変わりそうな予感。今の気持ちはずつと続いていきますように。(康)

▼「スパットと答えを出すことはわかりやすいし今の時代に求められているけど、そこからぼれたものと同じ合わない、その本質とは深く長く付き合うことはできないと思う」とはある反原発運動を続けてきた方のインタビュー。白黒だけではない時代、自分の中のものもややかに少し光明がみえた文章でした。(美)

▼佐渡特別公演に来てくださったお客様。佐渡の方と島外の方と、半々くらいに感じました。嬉しかったのは、観光でいらして「宿で紹介されて来ました」という、鼓童初体験のお客様も多かったことです。観光シーズンの連続公演は、まだまだ続きます。皆さん、ぜひ佐渡観光に来てくれつちや。(倫)

▼五月から、家を借りて一人暮らしを始めました。脱・寮生活、自活をしています。三世帯で住めるほど広い家です。夜は少しの寂しさを感じながらも、家の管理と、自分の管理を楽しみながら過ごしています。小さな畑を作ったので、サラダ菜とハーブの世話が毎朝の日課です。(瑠)

お悔やみ
 小木にお住まいで地域の民謡の継承と発展に尽くされた村田守さんが四月二四日に亡くなられました。「小木おけさ」や「小木追分」など、鼓童メンバーから研修生までご指導をいただき、私たちの活動を熱心に応援してくださいました。感謝とともに、心よりご冥福をお祈りいたします。